

かわにし町

第89号

2007.4・15

# 議会だより



平成19年3月定例会

## 働く人 — ハイ！手をあげて

● <b>特集</b> ほんとうに稲作農業に未来はないのか .....	P2~3
● 新年度予算 「地域再生」を目指し協働のまちづくり .....	P4~5
● <b>町政をただす</b> 収収対策、産業振興、農地、水、環境向上対策ほか .....	P8~11
● 強い決意を持って改革を断行せよ！ 特別委員会報告 .....	P16
● 町民の声 舞台に立ってみませんか.....	P17



春～天を写して水面かがやく みなも

## 特集

### 川西・未来へ

# 『所得向上プロジェクト』への提言

# ほんとうに稲作農業に未来はないか

## 日本一の栄光を再びとり戻そう！

大きく写真を二葉用いた。中央の写真、われらがふるさと川西が最も美しい季節。遠くに吉島カントリーの威容が見えている。左は農家が最も心浮きたつ光景。いずれも一千年余の稲作の歴史が作った誇るべき川西の風景だ。稲作の未来をなんとか拓かなければならない！この特集は全ての稲作農家に対する議会広報からの応援歌だ。

### 水田は不良資産か？

紙面のつごうで次ページに行ってしまったが、左下のグラフをご覧いただきたい。左端、昭和61年の本町稲作収入は84億1,800万円であった。この年、作況指数は104.1等米比率は93.1%。生産農業所得は47億7,300万円にのぼった。全米精米業者協会の輸出攻勢から端を発した「米」問題が大きな話題となり、11月、アメリカ、カリフォルニアと大塚の安部道雄

さん宅を衛星中継で結び、川西町の稲作が国際的に登場した年でもある。農協は第3次協同活動強化3カ年計画を策定したが、この年の県内農家の平均家計費が530万円と見込まれることから、所得目標600万円とする営農類型20数項目を提示していた。巻頭の一文に船山達郎組合長（当時）は「手をかける農業から郷土をおこす」と説き、兼業農家や勤労者、商工業者とともに「まちの協同組合をつくる」と提唱している。

もってしても達成しうるか疑問とされる時代となった。もちろん、畜産、野菜、花卉などの複合経営でこれを達成している農家はけっして少なくない。しかし、こうした経営にあっては、稲作部門を縮小する志向が強く、いわば4,000ヘクタールを超える本町の美田は、どうにもならない不良資産と見なされつつある。

**単価を稼げる稲作経営を**

それなら、ほんとうに稲作農業に未来はないだろうか。かつて3年連続単収収量日本一に輝き、全国から参観者が列をなした昔日の栄光を再び取り戻すことは全く不可能なことだろうか。

確かに20年を経て、米の消費構造も大きく変わり、断続的に行われているWTO交渉や、日豪EPAなど、悲観材料にはこと欠かないが、販売単価を維持向上させ、企業のマーケティングを習得して直販事業に挑戦する農家や、おにぎり屋さんを直営して成功している



集落営農体、やはり地域ぐるみで有機栽培に取り組み、自然食品店グループと契約に至った農家組合など、多くの試みがある。多くは、一人ですべての作業をこなすというスタイルが特徴的なのは、たまたまに立ちむかっただけがほとんど無いか。数戸、もしくは地縁共同体などの知恵を集めるという手法がとられており、在家・郷村集落以来の合議の伝統が生きてきている。村の再生のために、一千年来の日本農村の仕組みこそ有効であるとはなんともいえない。しかし、今日も今日の農村には、企業で教育訓練を受けた有能な人材が数多く存在する。彼らの能力を上手に活かすことも条件の一



秋～ 稲穂吹き分け風かよう

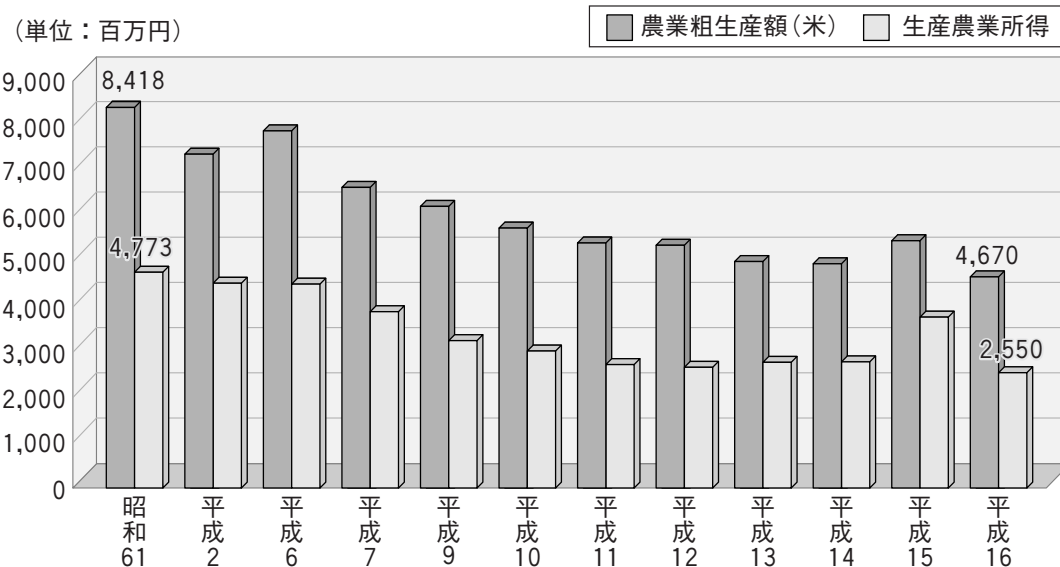
つだ。単価を稼げる稲作経営——これが川西の稲作再興の唯一のテーマである。**所得向上に稲作は不可欠**

稲作所得の相対的置位が下がったとはいえ、本町農家所得の内、最大の源泉であることには変わりはない。地域経済に与える影響も、したがって過少に見ることはできない。特産品開発も、もちろん重要だが、主力産品である「米」問題を抜きに所得向上はありえないのではないか。「プロジェクト」の論議が、この分野に光をもたらすことを

切望してやまない。**自己啓発が村の未来を拓く**  
悲観的材料が多いことは、ただちに可能性が全くないことを意味しない。むしろ、そうした時期こそビジネスチャンスだとする経営指南書はゴマンとある。原料供給のみを行う生産者から、経営者となるべく自己啓発を心掛ける農家が稲作再生のキーマンとなろう。稲作は、果樹や野菜などに比較すると、政治的に保護される度合が大きかったこともあり、経営術という分野で未熟であるときられてきた。しかし、今日の若い農家にあつては、

そのようなハンディは全くない。パソコンを操り、販路の開拓にも果敢である。いつの日か、彼らによって日本一の栄光を取り戻す日がやってくる。そのための支援を惜しんではならない。集落営農、あるいは認定農家同志の連携が、共働村落の未来を開くであろうことが予感されるのである。

川西町農業粗生産額(米)と生産農業取得



# 総額136億897万円

平成十九年度 予算

## 『地域再生』を目指し協働のまちづくり



「いよいよ出番紅大豆」川西ブランドをめざせ！

前年比2.2%減の

「身の丈に合った」緊縮予算

平成19年度川西町一般会計及び特別会計（6会計）の予算案が町長より提案された。議案はただちに予算特別委員会に付託され、各常任委員会、この3分科会に分かれ3月6日から同20日まで所管の各項目について詳細かつ慎重な審査が行われた。

その結果、議会最終日の予算特別委員会で、各分科会主査報告を受け、質疑を経て、本会議において全員賛成により可決承認された。

歳出の性質別では、人権費は新規採用抑制や議員定数の改正による減額はあるものの、統一地方

選挙や参院選挙等にかかる人件費が伸び、3.4%増の21億8,638万円で全体の29.6%。物件費は新たに斎場及びフレンドリープラザを指定管理者制度導入により3.8%増の7億8,941万円。扶助費は養護老人ホーム設置費等の減により1.1%減の4億2,648万円。補助費は、新規として後期高齢者医療制度事業や農地、水、環境保全向上対策に取り組むため、3.8%増の14億1,789万円と全体の19.2%。公債費は地域総合整備事業債等の償還終了に伴い、7.5%減の11億19万円。投資的経費で

は、補助事業で産地競争力強化事業への取り組みにより1.1%増の3,676万円、単独事業は、花丘町下小松線改良ほか町道整備を進めるもの、ふれあいの丘整備事業や高田沖線道路改良事業の完了等により25.2%減の3億4,265万円である。

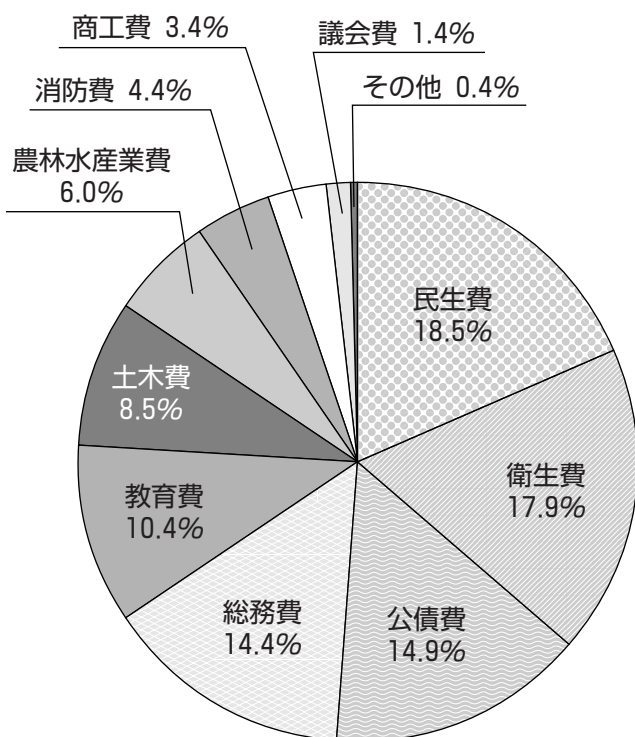
前年度対比で2.2%減の73億9,000万円であり、歳入に見合った歳出の緊縮予算であるが、第四次総合計画を着実に推進し、「地域再生」を目指した協働のまちづくりをしなければならない。

# 平成19年度予算

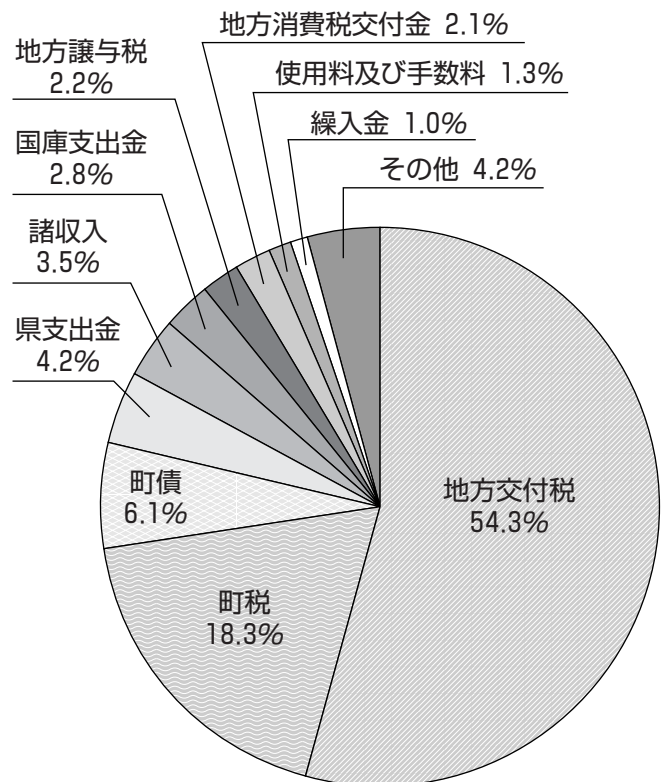
## 一般会計予算 73億9,000万円

### 自主財源 26.9%

#### 歳出



#### 歳入



平成19年度 会計別予算総額総括表

(単位:千円, %)

会計名	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減率
一般会計	7,390,000	7,559,000	▲ 169,000	▲ 2.2
国民健康保険事業会計	1,876,184	1,730,578	145,606	8.4
下水道事業会計	773,882	759,188	14,694	1.9
老人保健会計	2,018,726	2,037,640	▲ 18,914	▲ 0.9
農業集落排水事業会計	76,975	82,145	▲ 5,170	▲ 6.3
老人訪問看護事業会計	0	18,944	▲ 18,944	▲ 100.0
介護保険事業会計	1,473,207	1,464,150	9,057	0.6
合計	13,608,974	13,651,645	▲ 42,671	▲ 0.3

# 予算審査

各分科会の審査において、歳入見込み額の大幅な減少を受け、各種事業の見直しが論議の中心となった。以下は各分科会の主な質疑。下段横書きは、新規・廃止・縮少の事業の一覧。

## 第一分科会

**問** 町税等の納付督促対策の取組み状況と今後の対策は

**答** 平成18年度より2班4名体制に倍増強化を図り行動範囲を拡大し、平成18年10月から、滞納世帯を対象に訪問調査、納付相談、生活困窮世帯へは福祉サイドへの相談誘導など今後も現体制を継続し、滞納繰越額の縮減に努めていきたい。

**問** 羽前小松駅の今後のあり方の検討は

**答** 有識者等による懇談会や庁内検討委員会等で利活用について検討を行ってきた。中心市街地

活性化の観点から、町の表玄関として地域振興の拠点としての活用に調査検討し、早期の実現に向け取り組みを行う。

**問** 平成19年度から新規事業として実施される放課後子どもプランの取組みは

**答** 新規事業であり放課後に子どもたちの安全で安心な居場所を確保するという目的で、平成19年度の取組みは、「地域子ども教室」を引き継ぐ形を基本に3地区（大塚、大川、東沢）で実施予定である。



やっと安心！預り保育スタート

## 本年度当初予算での主な見直し事業

### ○新規事業

- ・アダプト推進事業（公園・町道等美化、除雪）
- ・預かり保育事業
- ・放課後子ども教室推進事業
- ・後期高齢者医療事業
- ・農地・水・環境保全向上対策事業
- ・みどり環境交付金事業
- ・フレンドリープラザ、斎場指定管理時業
- ・省・新エネルギー対策事業

### ○縮小事業

- ・内部管理経費（電算管理、消耗品等、交際費、旅費）
- ・町単独補助金（各種）
- ・消防団の編成

### ○中止・廃止事業

- ・まちづくりジュニアファシリテーター育成事業
- ・子宝祝金事業
- ・訪問看護事業（かがやきの丘で継続）

### ○完了事業

- ・ふれあいの丘整備事業
- ・高田中沖線道路改良事業

## 第二分科会

**問** 環境アドバイザーの養成内容は

**答** 環境基本計画の施策である人材育成、団体育成に向けた取組みの一つとして環境意識及び環境行動の啓発に向け環境アドバイザー養成講座を実施する。

**問** 消防の警鐘台の撤去状況は

**答** 平成18年度に全部の構造物を撤去したが、民地にある基礎については計画的に撤去を図っていく。

**問** 消防の広域化の見通

しは

**答** 国の消防組織法が改正され、市町村の消防の広域化に関する基本指針が示され、平成19年度中に県から推進計画が示される予定である。今後、山形県消防広域に関する推進計画に基づき進められるが、対象自治体の首長の合意形成が必要である。

**問** 自動対外式除細動器の普及は

**答** 平成18年度に消防車両に積載、町内では町民体育館に設置しており、住民への指導を積極的に進める。

## 第三分科会

問 農地・水・環境保全

向上活動支援事業の町の負担分について

答 普通交付税及び特別交付税で措置される。

問 やまがたみどり環境交付金事業の内容は

答 平成19年度に創設される「やまがたみどり環境税」の交付を受けて、下小松古墳群を中心に森林環境の整備を図るものである。

問 新規に創業する事業所に対する支援策は

答 新規創業に対し利子補給を支援するもので、新たに5件を見込んでいる。

問 本町におけるアダプト推進事業の内容は

答 本事業は、町管理の道路、河川、公園等の美化活動及び除排雪等の実施によりボランティア精神を醸成し、協働のまち

づくりを推進しようとするものであり町民の積極的な行動を期待している。

問 花丘町下小松線道路改良工事の進捗状況は

答 18年度末の進捗率は換算延長で218mであり、19年度における工事内容は全線1,226mの側溝設置と路盤築造を予定しており、事業完成目標を平成20年度にしている。

## 総括質疑

### 羽前小松駅の活用について

高橋 忠議員

問 TMO推進計画の中で小松駅の運営管理の見直しをしようとしたが、6月に以前と同様に戻し、今後1年間で検討するとして補正予算を組んだ。ところが19年度は、従来通りの予算が計上されているが。

町長 羽前小松駅の運営については集中改革プランに駅管理業務組合の今後のあり方について機能変更あるいは目的変更と言う内容で盛り込み、有識者等による懇談会や庁内検討委員会等で協議してきた。

町財政が厳しい中で、集約化をせざるを得ないのが実情である。

平成19年度の体制では、理学療法士等の総合病院集中や看護体制の見直しなど経営改善に向けた診療体制整備を図っていきたい。また、今後のあり方について、平成19年度中に関係者による調査検討作業を行い、その方向性を見出したい。

問 置賜広域水道事業からの受水量の増加に伴う水道事業の経営見直しは

答 水道事業経営の根幹をなす水道料金については、平成3年10月の改

をえないことから働いている方々とも話し合いを進めてきた。また小松地区から提案もいただいた。

市街地活性化の観点から、町の表玄関として地域推進の拠点としての活用を引き続き調査検討していく。

助役 委託収入の増加を図るためJRと協議している。19年度中に新幹線の指

定券が自動改札を通れるシステムの導入が計画されている。また、3月のダイヤ改正で米坂線と新幹線の接続が少し良くなる。

定以来、15年を経過した。この間、健全経営を目指し、浄水経費の抑制に努めながら嘱託徴収員による水道料金の未収金回収を行い、年600万円の徴収実績を上げてきた。

平成19年10月から、置賜広域水道事業から受水となることから、現行受水料金で試算した場合、諏訪浄水場での浄水費2千万円差引いても年間6、950万円の経費増額となり、1立米あたりの経費に換算すれば34円程度の増加が考えられる。

## 各分科会

各分科会とも担当課の範囲を越える問題について町長の出席を求め、政策を聴く機会を設けた。以下はその主な質疑内容。



どうする川西診療所

問 新エネルギーシステム導入の考え方について

答 新エネルギービジョンの重点プロジェクトである「観光、交流施設への積極的な導入」を図る上で、フレンドリープラザ及び浴槽センターま

どかに対するシステム導入の調査を行い実現に向けた可能性が示された。特に、フレンドリープラザの冷房機器については、既存設備の老朽化等により更新時期となっていることから、新たな機械更新との費用比較も含め、

平成19年度に雪冷房システム並びに太陽光発電システムの導入を予定している。なお、今後は計画内容を精査するとともに財政計画等を考慮しながら慎重に進めていきたい。

問 公立置賜川西診療所の役割をどう考える。

答 健康、医療、福祉、介護のいわゆる包括医療の要としての役割を期待して運営してきた。しかし、地方の医療機関にとって医師の確保が非常に厳しく、サテライト施設としての性格から包括医療を担うところまで機能して

いないのが実情である。平成19年度の体制では、理学療法士等の総合病院集中や看護体制の見直しなど経営改善に向けた診療体制整備を図っていきたい。また、今後のあり方について、平成19年度中に関係者による調査検討作業を行い、その方向性を見出したい。

問 置賜広域水道事業からの受水量の増加に伴う水道事業の経営見直しは

答 水道事業経営の根幹をなす水道料金については、平成3年10月の改



税金完納で住みよい町に



淀 秀夫 議員

全国91%の自治体に不安 原田町政に不安はないのか？  
町長 言葉がたりず反省する

**淀** 去年、ある新聞の調査によると全国の1890の市町村の内、殆ど0の首長が地方交付税の削減や高齢化による財政の圧迫などを理由に、自体存続に91%が不安を感じていると報道された。また今年の1月にはテレビ討論でも取り上げられ、厳しい市町村の台所現状を分析していた。

しかし町長は新聞では存続に不安は無いと述べていたが、町民の間では現状認識が甘いという声が出ています。

**町長** 財政状況は非常に厳しいが行政改革の課題に取り組み、自主自立の道を推進していることで、政治的な発言をした。しかし言葉足らず、町民に誤解を与え反省している。

**税金納率は県内最低**

**淀** 山形県の平均17年度の各市町村税の徴収状況によると、川西町の町税収納率は県内で最低の

63.9%と異常に低い数値となっている。

町の発表では、玉庭にあった倒産関連企業の滞納が5億6,000万円余りあるのが主因と見られる。しかし町民の中には悪質な未納者もいて、町では現在、財産の差し押さえの措置を執っているようだ。

また組織の再編で税務収納課を設置し、収納の強化を図るようだが、とりあえず大型倒産の滞納金の収納対応は。

**町長** 資産の差し押さえを行うことの努力をした結果、平成4年以降これまで凡そ1億3,600万円の滞納町税を収納した。しかし未だに大幅な滞納額になっているため、情報分析しながら適正に判断したい。

**淀** 厳しい財政の下、自立への道とは言え、時代の流れにさからう事のないよう現実を直視した行政の舵取りを願う。

農地・水・保全対策をどう進める。

町長 適時・的確な情報の提供、適切な支援に努める

**横山** 地域住民全員参加を銘打っての事業であるが、地域の方々の積極的な、理解と参加が無ければこの事業の意味が無いと思うが、どのように進められるのか。

**町長** 平成17年10月に決定された「経営所得安定対策大綱」に基づき、平

成19年度から5カ年間の事業として、展開される事になる。過疎化や高齢化・混住化等の進行に伴う集落機能の低下により、農地や農業用水等の資源の適切な管理が困難となってきたという現状や、農村の自然環境や景観の保全・形成等の多面的機能への国民的な要請、農業生産全体および環境保全を重視したものに転換して行くことが求められる事から、地域ぐるみで効果の高い共同活動と、農業者の先進的な営農活動を一体的かつ総合的に支援する。

**町の経済活動に活力を**

**横山** 小松中心商店街に活力が見えない。又、町全体に活力を与えるため、町全体が手を組んで、実



横山 明博 議員





『おまえもベゴ飼うごんだ』



高橋 照夫 議員

産出額一〇〇億円達成の戦略と所得向上策は  
町長 農工商一体による周年農業の確立を図りたい

**高橋** 平成18年度より、「地域再生」を最大の目標として第四次川西町総

合計画がスタートした。まちが潤い元気になるためには、魅力ある希望の

持てる産業振興がさしせまった課題である。本町は農業を基幹産業と位置づけているが、農業を取巻く環境は年々、厳しさの一途をたどり、戦後最大の米改革に伴う米の消費動向の変化、低価格志向の増大により、米依存度の高い本町農業に大きな打撃で大変厳しい状況にあるが、今後の重点項目及び戦略的施策は。

**町長** 水稲に極度に依存した経営体質から脱却し本町における「米づくりのあるべき姿」を実現し水田農業経営の持続的、安定的な発展を図るため、新たな戦略作物としてダリア・アスパラガス・枝豆・たらの芽・紅大豆を推進作物として周年農業の確立と畜産、園芸を積

極的に振興したい。

**高橋** 平成17年度の農業産出額は72億円である。総産出額100億円実現に向けての数値目標は。

**町長** 昭和60年の108億円をピークに年々、減少傾向にある。米沢牛の主産地を目指す畜産団地の形成や紅大豆の特産化に向けた農工商一体となった農業を機軸に新たな価値の創造に取組みを展開し、目標実現に向け「川西町水田ビジョン」の具現化に最大限支援していきたい。

**高橋** 町民所得向上を図るため、庁内に「川西町所得向上プロジェクトチーム」が設置されたが、具体的な施策と今後のアクション計画は。

**町長** 所得向上に向け、総務省の新年度創設予定の「頑張る地方応援プログラム」に応募し、総務省に対し交付税措置を要望していきたい。

質的な協働の町づくりを進める事が急務。そこで、川西商業協同組合が発行する共通商品券による、買い物キャンペーンの実施を提案するが。

**町長** 事業者のサービス向上と町民との結びつき

を深めて行く点で大変有意義な手段と考える。魅力ある町づくりや、商業の活性化と農業振興支援との相乗効果を目指し、JA山形おきたま川西支店との連携が一層図られるよう指導力を発揮する。



みんなと遊ぶの楽しいな！

子育て支援を積極的に

**横山** 国をあげて人口減少に歯止めをとる毎日のように話題になっている。今こそ全国に先駆け奇抜なアイデアで子育て支援をシッカリする事がわが町の人口減を食い止める

事と思うが。

**町長** 19年度の予算編成の重点施策目標に、子育て支援の充実を掲げた。若者の定着化や子育て支援の充実は重要な施策と認識している。今年度から預かり保育を全ての町内幼児施設で実施する。



事業の目的を明確に

合併は、広域連携の議論を重ね、管内市町の協議等に積極的に参加する。  
**高橋** 自主財源の確保は急務だ。中小企業も振わず、農家所得も低迷を続けている。工業生産を伸

事業の目的を明確に  
 みの強化、産業振興、自主財源の拡大が図られるよう努力する。集中改革プランで、事務事業の見直し、民間委託推進、定員管理など歳出構造の改革を行う。

所得向上に向けた取組の強化、産業振興、自主財源の拡大が図られるよう努力する。集中改革プランで、事務事業の見直し、民間委託推進、定員管理など歳出構造の改革を行う。

は、自立の道というが早晩町村合併を考えることも時間の問題と思うが。  
**町長** 依存財源率の高い本町財政にあつては、今後とも厳しい状態が続く。

しかし財政危機で身動きも出来ない状態だ。町長は、自立の道というが早晩町村合併を考えることも時間の問題と思うが。

**高橋** 町の財政は、大丈夫か。原田町政は3年経過した。その間の足跡をみると、まどか改革、公用車の廃止、大課制、助役人事で県、国からの招へい等枚挙にいとまない。

## 町政をあくまで効率的行政運営に努める



高橋 徹議員

が意識改革と教育は。  
**町長** 全職員に対して事業の目的、成果を明確にして最大限の効果を上げよう指示している。

高橋 協働の町づくりをすすめる新たな発想で努力されているが職員との間に開きがあると思われる。

町内では、付加価値の高い製品、独自の生産体制で業績を伸ばし従業員も増員を進めている企業もある。町創業者支援利子補給制度利用者は2件あり、空店舗の再生、県単の農産物加工施設整備事業を導入し、支援策を検討している。

町内では、付加価値の高い製品、独自の生産体制で業績を伸ばし従業員も増員を進めている企業もある。町創業者支援利子補給制度利用者は2件あり、空店舗の再生、県単の農産物加工施設整備事業を導入し、支援策を検討している。

ばす事が重要だが企業誘いの交渉の経過は。  
**町長** 県の工業振興課と連携し取組んでいる。産業創造室を窓口として受入れ相談をしている。国・県からの情報を得ながら、企業訪問、懇談会を行っている。

ばす事が重要だが企業誘いの交渉の経過は。  
**町長** 県の工業振興課と連携し取組んでいる。産業創造室を窓口として受入れ相談をしている。国・県からの情報を得ながら、企業訪問、懇談会を行っている。

## 若い力のない町には発展はない

### 町長 雇用創出と交流人口の拡大で

なり産学官が連携し、地域資源の実態調査を実施し、商品開発、販路拡大の方向性、推進体制及び公的機関の提言をまとめた。これを19年度経済産業省の補助事業に取り組

島貫 雇  
 用機会の  
 創出、所  
 得のある  
 まちづく  
 りと地域  
 活性化F  
 S事業の  
 内容とそ  
 の目標は。  
**町長** 中  
 小企業基  
 盤整備機  
 構から承  
 認されて  
 商工会が  
 受け皿と

島貫 雇  
 用機会の  
 創出、所  
 得のある  
 まちづく  
 りと地域  
 活性化F  
 S事業の  
 内容とそ  
 の目標は。  
**町長** 中  
 小企業基  
 盤整備機  
 構から承  
 認されて  
 商工会が  
 受け皿と

島貫 雇  
 用機会の  
 創出、所  
 得のある  
 まちづく  
 りと地域  
 活性化F  
 S事業の  
 内容とそ  
 の目標は。  
**町長** 中  
 小企業基  
 盤整備機  
 構から承  
 認されて  
 商工会が  
 受け皿と

は若者の定住が最重要課題と受け取め、これを企業誘置や公立置賜総合病院はじめ医療福祉施設等の進出により就業機会創出が図られた。さらに積極的企業誘致と町内事業者の支援を図り雇用拡大を目指す。  
 交流人口拡大による若

は若者の定住が最重要課題と受け取め、これを企業誘置や公立置賜総合病院はじめ医療福祉施設等の進出により就業機会創出が図られた。さらに積極的企業誘致と町内事業者の支援を図り雇用拡大を目指す。

みダリヤや牛肉、紅大豆の活用を重点に事業を展開、山工学部ものづくり技術経営学(MOT)専攻に町内事業所から3名入学が内定し今後の地域資源開発による活性化と雇用拡大を期待している。

みダリヤや牛肉、紅大豆の活用を重点に事業を展開、山工学部ものづくり技術経営学(MOT)専攻に町内事業所から3名入学が内定し今後の地域資源開発による活性化と雇用拡大を期待している。



島貫 徳右工門 議員



### 長井南バイパス施工状況

**加藤 俊一 議員**  
加藤 公立置賜総合病院周辺の開発は、県・町当局・民間の活力により整備され発展している。国道287号長井南バイパスも順調に整備が進められている。さらに近くの路線計画に新潟山形南部連絡道路がある。この道路計画が川西町内にかかわるか、かわらないかで、川西町の将来の発展に大きく影響してくるものと思う。まだ調査区間の段階であるが、早急に行動を起こすべきと思う。



## 新潟山形南部連絡道路の誘導行動を早急に 町長 整備区間格上要求、要望活動を強力に進める

町内をはずれ、決定してから要望行動を起こしても遅いと思う。この新潟山形南部連絡道路計画の町内への誘導策についてのご所見は。  
**町長** 新潟山形南部連絡道路については、新潟県下地域と本県置賜地域を結ぶ約80kmの計画路線であり新潟県側30km山形県側50kmとなっている。本町の大塚地区は計画路線として平成6年12月に指定され、平成10年12月調査区間となり、現在各種調査が進められており、ルートの具体的な通過経路はまだ決定されていない。町・議会はもとより各種団体の皆さんと共に、公立置賜総合病院立地の優位性、川西町・大塚地区が置賜の中心に位置すること等を訴えながら整備区間への早期格上げを

求、要望活動を強力に進めていく。  
**町内商店、事業所のPRと活性化策を**  
加藤 景気低迷する中、町内の商店、事業所の皆さんは、アイデアと企業努力により営業されている。産業の発展なくして町の発展はない。町の限られた予算をいかに有効に使うかが問われる。これらのことから、町商業協同組合の商品券の活用支援、町報かわにしへの商店・事業所の広告・宣伝を掲載してはどうか。  
**町長** 町報は月1回発行している。今後広告掲載の先進事例を見ながら、広告の掲載基準や料金等も含め積極的に検討していく。商品券活用支援についても商工会、商業協同組合と十分話し合い検討していく。

者の定着化を図りたい。また、子育てと就業の両面から職場環境体制や意識改善や経済的負担の軽減・託児環境の充実の

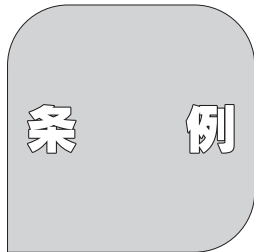
ため預かり保育の実施を全ての町内幼児施設にきめ細かな対応で充実していく。



進出企業で働く若者たち

**島貫** 県市町村課で税の徴収状況が発表になり、本町は県下最低63.9%、大型リゾート法人の滞納繰越金や一般未納金の件について厳正な税徴収を促し、実情と回収の努力目標を町報等で住民周知すべきでは。  
**町長** 町報3月号で17年度収納率内容を解説掲載

の予定。町税の収納率目標値は18年度現年課税分96.4%（17年95.2%）であるが滞納繰越金は抜本的改善目標を設定し検討する。  
町税以外の滞納対策についても来年度から町の滞納収入金の全てを一括管理する検討をしている。



### ◎川西町副町長定数条例の設定について

#### 法改正により助役が「副町長」に

地方自治法の一部が改正され、助役に代えて副町長を置くこととされた。副町長の定数は、条例で定めるものとされ、これを一人とするもの。

施行は4月1日から。

全員賛成により可決

### ◎川西町まちづくり委員会条例等の一部を改正する条例の設定について

#### 室を改め、新たに3課を設置

これまでの6課5室から室を廃止し、新たに改革推進課・協働のまちづくり課・税務収納課を設置し、政策総務課は総務課と改め、住民税務課は住民生活課と税務収納課に分ける。課名変更に伴い制定するもの。施行は4月1日から。

全員賛成により可決

### ◎川西町立幼稚園入園料及び保育料条例の一部を改正する条例の制定について

#### 希望に応じ時間外保育を実施

本来の保育時間以外の時間に保育を行う預り保育の実施に伴う制定で朝は7時30分から8時30分、午後は3時から5時までと、5時から6時までの各々につき実施される。

施行は4月1日から。

全員賛成により可決

### ◎川西町へき地保育所設置条例の一部を改正する条例の制定について

本来の保育時間以外の時間に保育を行う預り保育を午後5時から6時まで実施する改正。施行は4月1日から。

全員賛成により可決

### ◎川西町職員の勤務時間

休憩等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

障害者自立支援法の施行に伴い、職員の産前休暇の期間を6週間から8週間に改めるもの。施行は4月1日から。

全員賛成により可決

### ◎川西町特別職の職員等の旅費、費用弁償及び実費弁償に関する条例及び川西町税条例の一部を改正する条例の設定について

地方自治法の一部改正に伴い関係条例を整備するもの。施行は4月1日から。

全員賛成により可決

### ◎川西町一般職の職員の給与に関する条例及び川西町技能労務職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の設定について

職員の扶養手当の改正、課名の変更、期末手当の減額及び特殊勤務手当の

支給を凍結するため制定するもの。施行は4月1日から。

全員賛成により可決

### ◎川西町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

町長及び副町長の給料並びに町長、副町長及び議会議員の期末手当を減額するもの。施行は4月1日から。

全員賛成により可決

### ◎川西町教育長の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例の制定について

行政手続法の一部改正に伴い条文を整備するもの。施行は公布の日から。

全員賛成により可決

### ◎川西町特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例の制定について

課名変更に伴い関係条例を整備するもの。施行は4月1日から。

全員賛成により可決

### ◎川西町行政手続条例の制定について

行政手続法の一部改正に伴い条文を整備するもの。施行は公布の日から。

全員賛成により可決



### 議会広報モニターから一言(6)

#### 議会だよりを楽しく!

小松 渡 部 秀 一

議会広報モニターの中で順番が回ってきましたので私も重箱の隅をつつこうと目を通しますが、中々良くまと

まっています。円熟期に入っているのでしようか?  
それでも、モニターとして何か提言して欲しい

い。と言われると困った。：ところに委員との懇談会がありました。その中で出た話が本会議に諮られる前の常任委員会の会議は面白いとの事。それを聞いて思いました。是非、生々しい会議内容を、方言のまま口語調で「委員会日記」みたいな欄を設けて載せたら議会だよりも楽しくなるのではないと思いま

す。当然議論の激しかった委員会が対象ですから、毎回といかないでしょうが、脚本みたいに、○議員の怒号とか、○議員の野次と言ったような注釈を入れて、臨場感あふれる様な内容でしたら最高だと思います。  
最後に、読者サービスは大切だと思います。



### 固定資産評価審査委員の選任に同意

平成19年3月31日で任期満了になることに伴うもので再任することに全会一致で同意。

#### 星野謙司(再任)

住 所 川西町大字吉田20番地  
生年月日 昭和25年3月13日

### 人権擁護委員の候補者として

#### 推薦することにより同意

本年1月1日から1名増員されることに伴い、法務大臣より新たに委嘱する候補者の推薦依頼があったので次の者を推薦することに全会一致で同意。

#### 鈴木紀子(新任)

住 所 川西町大字上小松1456番地  
生年月日 昭和19年1月12日



### 道路整備財源の確保と充実をはかれ!

「道路特定財源の見直しに関する具体策」が閣議決定され、一般財源化を前提とした道路特定財源全体の見直しについては、平成20年の通常国会において所要の法改正を行うとされたところである。

今回の見直しは、地方の道路整備財源の安定的確保に多大な影響を及ぼし、道路整備の推進に大きな支障を来すことが懸念される。よって、国においては、道路特定財源の見直しに当たって、地方における道路整備の実情とその必要性を十分認識されて緊急かつ計画的な地方の道路整備の推進に必要な財源を確保すること。●地方における道路整備財源の充実を図

ること。●冬期交通対策を強力に推進すること。以上、実現されるよう強く要望する。

#### 《提出先》

衆参両院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣

#### その他の決議

#### 新エネルギーを導入

《雪冷房・太陽光発電》  
◎過疎地域自立促進計画の一部変更について

フレンドリープラザ新エネルギー設備整備事業の実施に伴い、計画の一部を変更するものである。本町では、平成14年度に「川西町環境基本条例」を制定し、その行動計画として「環境基本計画」の策定、「ISO14001」の認証取得を行い、環境にやさしく持続的発展が可能なまちづくりに

積極的に取り組んでいるところである。

#### 新エネルギービジョン

では、雪や太陽光など持続可能な代替エネルギーの積極的な導入により、環境負荷の軽減はもとより、町の産業をはじめとするまちづくりにおいて、新たな可能性を生み出すものとし、本町の特性を活かした新エネルギーの活用を推進することとしている。

#### 今度の特には、フレンドリープラザの冷房機器について、既存設備の老朽化等により更新時期となつていくことから、新たな機械更新との費用比較も含め、平成19年度に雪冷房システム並びに太陽光発電システムの導入を予定している。

### 表紙の写真



#### 働く人

「ハイ！手を上げて」

下小松 平田聡美さん

かがやきの丘で通所相談員として働く平田さん。ただいま入所されているお年寄りたちに号令も勇ましく軽運動の指導中。

勤務して二年目。笑顔でやさしくがモットーだ。

学生時代にボランティアで活動した経験から、お年寄りをいたわる仕事に就きたいと思ったとのこと。利用者の皆さんに頼られ喜ばれると、一層力が湧くと語る。

# 川西町診療所負担金総額

補 正

## 62,134 千円

### 一般会計

歳入歳出それぞれ2、451万円を減額し総額を76億6、649

万円とするもの。

歳出の主なものは、置賜広域病院組合負担金の

5、166万7千円（川

西診療所分3、175万

1千円）、減額されるも

のは障害者自立支援法に

変わっての1、988万

9千円、中山間地域総合

整備事業1、848万円。

歳入の主なものは町債

の農道整備事業債1、4

33万円、地方交付税1

億2、577万6千円、

デマンド型交通システム

導入促進事業県補助金3

71万2千円である。

▼国民健康保険事業特別

会計補正予算（第三号）

▼川西町下水道事業特別

会計補正予算（第三号）

▼川西町介護保険事業特

別会計補正予算（第四号）

▼川西町老人保健特別会

計補正予算（第四号）

▼川西町老人訪問看護事

業特別会計補正予算（第

四号）

▼川西町水道事業会計補

正予算（第四号）

以上 補正七議案は、

いずれも事業確定による

補正

全員賛成により可決

### 議会広報モニターから一言(7)



「幼い者」について

もっちゃんいぬいこ

堀金 鈴 木 幸 子

現在、幼稚園バス添乗

員として、仕事をさせて

頂いており、かたわら農

業をしています。そんな

中で多くの保護者の皆

さんや子供達と接して

きて、

「この先、この施設はど

うなるのだろうか」

という、不安をよく耳に

します。年々少子化が進

む中、幼児施設の再編に

むけての情報、保育への

サービス等など、園児の

確保も含め、検討と説明

の遅れが心配です。

私の子供達が、20年前

にお世話になってた頃

をなつかしく想い出し

てみますと、「子に合わ

せ」での環境なり、保育

（子育て）であったのに

対し、現在は「親に合わ

せ」での保育、世相と

なってきたている事も、残

念でなりません。

いつの時代も子供は

同じ。親や周囲が不安に

思っている、敏感に感

じ取るものなのではな

いでしょうか。「幼い者」

にもっといいねいな対

応を願っています。

春の各町村議定会総会にお

いて、五人の本町議会議員が

それぞれ表彰の栄に浴した。

全国町村議定会、山形県町村

議長会自治功労者（在職一五

年以上）として佐々木賢一議

員、金子一郎議員。置賜地方

町村議会議長（存職一〇年以

上）として淀秀夫、平田千代

子、佐藤興市の各議員である。



## おめでとう ございます



# 委員会 レポート

## 総務常任委員会

### 幼稚園・保育所の預り保育が全町に拡大

平成19年2月20日、町内の小中学校通学区域の見直し及び幼児施設の再編について所管事務調査を行った。

小中学校については、これまで2回、議会だよりで経過や課題等を報告してきた。今後は保護者及び地域の方々の理解を深めるため座談会を計画している。

幼児施設については、

一部で預り保育を実施してきた。本来の保育時間以外の時間に保育を行い、実質的に保育時間を長くして、保護者の要請に応えるものである。この小松保育所での取組みを4月から全町一斉に実施したい。内容は預り保育の時間①7時30分～8時30分、②3時～5時までは幼稚園対象、③5時～6時までは幼稚園・へき地

## 厚生常任委員会

### 民生委員等の実態調査

平成19年1月24日、民生委員児童委員協議会役員との懇談会を開き、悩める各家庭からの相談を受けているなどの活動内容を中心に調査を行った。

現在、民生委員と児童委員は50人に委嘱されている。この内、17人が出席した。

状況報告の中で、離婚等で母子、父子家庭が増加している。このために

ろいろな相談事が多くなっている。しかし、個人情報保護法が施行されたのに伴い、足かせとなつて的確な情報が把握出来ないのが実情で、各委員の間で情報交換しなごらの対応に当たっている。生活保護は、申請により対応せざるを得ない現状のようで、個々の生活情報の把握が難しいケースが出ている。



「預り保育」は就労支援でもある

保育所対象の三コースとなり、二コース月2,000円で、臨時的な利用についても15回で2,000円の回数券がある。預り保育についても充実した保育に務める。

平成16年、6人の委員を減らした経過があるが相談件数が増えている現状では増員の声が強かった。

家庭崩壊、学校崩壊が全国的に社会問題になっている今日、本町では、このような問題がなく、全児童生徒が健やかに学校生活を送っていることの報告があった。

## 産業建設常任委員会

### 克雪は、行政の更なる努力と住民との共同作業が肝要

2月14日、除雪等の現況調査を行った。当日は、あいにくの積雪ゼロの箇所もあり、当初予定の見込みとは異なった状況ではあったものの住宅密集地の狭隘な道路の課題、平野部の吹雪対策など行政投資の必要性や地域住民の協力体制の組織化の必要性を改めて痛感させられた。また、暖冬による除雪費の動向については、今後の推移によるものの当初予算(7,000万円)の7割程度になるのではないかとの説明を受けた。

今冬は、たま

たまの暖冬となつてることから雪対策の切実な声は少ないものの、安心し



暖冬のときこそしっかり調査をしておく

# 強い決意を持って改革を断行せよ！

## 行財政特別委が報告、行財政改革は道半ば

大幅な地方交付税の削減等によって、かつて経験したことがない財政危機を打開するため、町は財政の健全化をはかるとともに、地方分権の時代にふさわしい行政システムの確立を目指し、平成16年10月に「新行財政改革大綱」、平成17年12月に「集中改革プラン」を策定した。議会では、進捗状況の把握と結果の検証評価を行うため「行財政に関する調査特別委員会」（佐々木賢一委員長）を設置して、調査研究を行ってきたが、このたび2年間の調査研究を終え、報告書が提出された。

### 一、集中改革プランの進捗状況

全61項目について町の点検評価をもとに、進捗状況の把握と検証評価を行った。

起債の借換によって当面の公債費負担を軽減し、直面する財政危機を乗り切ったことは一定の評価をするが、財源の好転は今後も望めず、一時しのぎに過ぎない。

合併議論が進まない中、既定の行政システムの概念を一から見直し、役場と住民の間の行政サービスをまったく新しいシステムとし、行政コストを徹底して減ずる以外に財政の健全化はありえないのではないかと。

集中改革プランの前文にあるように「強い決意を持って行財政改革を断行」するよう求める。

### 二、住民周知について

行財政改革は、既得の権益を持つ住民にとって痛みを伴うものである。川西診療所玉庭分院の廃止、混乗バスのスクールバス化、部落公民館への補助金打ち切りの際に見られた住民の不安や混乱は、代替施策を含めた事前の説明が行き届いていなかったことよって惹き起こされた。

改革にあたっては前提条件として、十分な説明によって住民理解を得るよう最善を尽くすべきである。

特に中山間地域にとつては、行政サービスの切捨てと捉えられることもあり、住民理解を得ることに、慎重を期してほしい。

三、職員の意識改革と研修の充実

改革項目の多くは、職

員による職場改革である。

いくら町が高い志を掲げても、現場で仕事をする一人ひとりの職員の意識が高くなければ改革は画餅にすぎない。職員の意識改革は、いまだ道半ばといわざるを得ない。

改革推進の上で、職員自らがその重要性を認識するとともに、その方針手順、手法等を熟知していることが最も肝要である。

そのためにも、職員研修を継続して実施し、将来の本町を見据え自信を持って業務を遂行できる職員を育てることが求められる。

### 四、改革推進手順の明確化と手法のルール化

改革の推進に当たっては、その推進手順の明確化と、手法のルール化が求められる。改革内容によつては、段階的に推進

する必要があるものもあり、また住民の公正公平の観点も重要である。

それぞれの改革の内容に整合した推進手順を明確にして、職員、住民に示し、職員間の意思疎通を深めた上で、住民に対して理解を得るよう努力すべきである。



職員の意識改革が要となる

### 五、担当部署への権限付与

行財政改革を主導調整する政策総務課は、改革内容に精通し、全庁にその実施を求める中心組織である。

改革に職員の温度差があつては、住民理解を得る上で混乱を生じかねないことから、改革の進化管理に、より強力な権限を付与する等、推進の要として行政システムの中に明確に位置づけることが必要である。

### 六、むすび

地方分権といひながら、地方自治体の体力は弱まるばかりであり、三位一体の改革は地方の犠牲のもとに国の財政を立て直そうという仕掛けに他ならず、新たな地域間格差を生み出している。

真に地方を再生させるためには、地方を衰退させたさまざまな原因を乗り越える方策を考えなければならぬ。

行財政改革はそのひとつに過ぎず、川西町の行政課題は大きく重いことを関係者一同胸に刻み込まなければならぬ。



# 町民の声

## 演劇でストレススッキリ！ 一緒に舞台に 立ってみませんか

佐藤雄太郎

上小松

開演五分前のベルが鳴る。こわばった体を軽くゆすり脱力する。二度、三度、深呼吸をする。セリフを暗唱しながら『だいたいようぶ、練習通りやればできる』と自らに言いしかせる。開演のベルが鳴りひびき鈍いモーター音とともに、緞帳が重くそして、ゆっくりとせり上がってゆく。『さあ、出番だ』。



ソーントン ワイルダー作 栗田政弘脚色『わが町』

体育会系の私が、なんとも畑違いな演劇とは。

きっかけはプラザの演劇学校に入学したことでしたが、決して真面目な気持ちではありませんでした。授業も面白半分で参加してました。びっくりにしたのは、毎回マスクミ陣が押しかけて、テレビカメラとマイクでインタビューされたりと、気持ちちはスターの様、すっかり舞い上がってしまいました。授業のすべてが初めての事ばかりで、全然うまくできません。でも、回数を重ねる毎に、徐々に慣れてきた頃、先生が、『佐藤君、いい声してるね』と言われた事で俄然やる気になりました。裏方で応援すると思っていた私が、いつの間にか絶対役者で舞台上に上がるぞと変化してました。二年間の集大成の卒業公演、『わが町』では、運良く、駅長さん役で舞台上に立つ事ができ感激しました。思いがけず、誉められて、すっかりその気になりました。

『菜の花座』結成へ  
卒業で演劇とは足を洗

うはずが、事務局が用意した劇団結成に次第に傾いて行きました。十一月に初公演をする事になり、何から何まで初めての事ばかり。今、考えても、まあ良くやったものだと思っ程でしたが、それだけ熱く燃えた事は人生で

も、そうある事ではなかったから貴重な経験でした。  
結成から九年経ち、公演は十五回を数えます。平成十四年にはラッキーマ事に、鳥取県での国文祭に参加するチャンスに恵まれ、遠路はるばる出張公演もしてきました。非常に厳しいスケジュールでしたが、いい思い出です。

この四月より、プラザは町直営から指定管理者の遅筆堂文庫プロジェクトに運営が変わります。利用団体として、今まで以上に協力を惜しみませんので、良好なプラザ運営がされる様に期待します。

菜の花座は演劇学校の一期生が結成した劇団ですが、ここ二、三年は結成メンバーがさまざま

理由で退団して、その代わりに、置農演劇部OBが多く占める構成になりつつあります。劇団結成する時に、言われたことでしたが、作るよりも、ずっと継続することの難しさを感じています。私は代表という肩書ですが事務局という方が合っています。置農教諭の河原さんが、脚本、演出、舞台美術を一手に行っています。彼は来年には定年です。それと同時にシニア劇団を作ることと、もう一つは出前公演をすることがさしあたっての夢です。幼稚園、小・中学校や、各種施設などに行き公演をしたいと話合っています。  
最後に、演劇はストレス解消には適しています。練習の自身は、準備体操から、筋トレ、呼吸法、発声と三十分ほど体を温め、日常を忘れてから台本にかかります。三時間の練習が終わると、それまでのイヤな気分がスッキリさわやか。ぜひ一度経験してみてください。そして、一緒にプラザの舞台に立ってみませんか。

# 大切な大切な人と人との絆

～子ども達に夢を託して～

## 東京都世田谷区 鈴木昌二さん



<すずき しょうじ>

昭和26年6月29日 世田谷区生まれ  
世田谷区スポーツ少年団副部長  
世田谷区議会議員

昭和61年2月下旬、当時世田谷区スポーツ少年団の副部長をしていた私に、突然一本の電話が入りました。それは川西町吉島地区スポーツ少年団の役員の方からでした。その瞬間から川西町の皆様とのご縁が始まり、川西町吉島地区と世田谷区の子どもの交流会は、平成14年の春までに23回を数えました。スポーツやキャンプファイヤーでの交流を中心に、わら民芸作り、蔵王坊平でのキャンプ、雪灯籠まつり、ホタル祭り、小野川温泉、亀岡文殊参拝、ダリヤ公

園、サンマリーナ玉庭でのスキー、芋煮会、餅会食会、そば打ちなど、貴重な体験をさせていただきました。世田谷区の子ども達は川西の自然、文化、そして歴史を肌で感じたことでしょう。そして私達指導者は、地区収穫感謝祭など、様々な場面にも参加させていただきました。お陰様で今では光栄にも、県外在住でありながらアルカディアの里「東京川西会」に、そして世田谷山形県人会の会員として、毎年秋には芋煮会（多摩川河川敷にて）

わがまちをよそから見れば...

にも参加させていただいております。そのようなこともありまして、私の心の中にはいつでも川西町のこちよいい風が吹いております。その想いを詩に表し、音楽関係者の方に曲をつけていただいたこともありました。こ

の場をお借りしてご紹介させていただきます。♪緑と丘と愛のあるまち～かわにしまちの詩～素晴らしい出逢いに感謝しながら、川西町のみすますのご発展を心よりご祈念いたしております。

### 緑と丘と愛のあるまち ～かわにしまちの詩～

作詞 連 昌次郎(ペンネーム)  
作曲 鈴木久美子

れきしがやどる こふんぐーん  
たずねてふれあう ふんがざい  
みどりのあるまち かわにしーは  
であいのうーたに やすらぎいこう

- |   |   |  |
|---|---|--|
| 1. 歴史が宿る 古墳群<br>訪ねてふれあう 文化財<br>緑のあるまち 川西は<br>出逢いの詩に 安らぎ憩う | 2. 豊かな自然 感謝する<br>地酒と黒ベコ 米どころ<br>丘のあるまち 川西は<br>ダリヤの詩に 想いを込めて | 3. 小松豊年 獅子踊り<br>文化の小松座 遅筆堂<br>愛のあるまち 川西は<br>こころの詩が 優しく響く |
|---|---|--|

### 編集のつらさ

▼昨年の豪雪がまったく嘘のような暖かい冬を過ごす事が出来た。しかし、重機による除雪作業、屋根の雪下ろし作業が見られない風景も寂しい▼雪がもたらす経済効果が見られない事から財布の中は冷え切っている。今年の夏の気候はどうなる事やらなんか心配。▼国の三位一体改革による地方財政の逼迫は19年度予算にも大きく影響し、活力を感じる予算編成とは言い難いものがある。サテどうしたものか、今こそ知恵の出どころ、上杉鷹山に学ぶときか。▼このメンバー最後の議会だよりとなる。できうる限りわかりやすく心がけたつもりだが、どうだったろうか。融和と探究心を大切に和やかな雰囲気の中活動出来た事に感謝(横)

- 委員長 黒澤 照夫  
副委員長 高橋 明博  
委員 横山 明博  
委員 佐藤 興市  
委員 高橋 建一